

PRESS RELEASE
報道関係者各位

2025 年 3 月 27 日
株式会社 神戸デジタル・ラボ

標的型攻撃メール訓練サービス「Selphish（セルフフィッシュ）」 不審メール報告／報告率レポート機能をリリース

情報セキュリティサービスを提供する株式会社神戸デジタル・ラボ（兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長 玉置慎一、以下 KDL）は、3 月 27 日、クラウド型標的型攻撃メール訓練サービス「Selphish（セルフフィッシュ）」において、ユーザーが不審なメールを簡単に報告でき、報告状況を評価できる「不審メール報告機能」をリリースします。



■新機能リリースの背景

標的型攻撃メールの被害に遭わないためには、従業員が不審なメールを開封しないことが重要です。しかし、攻撃メールの手法は、緊急性を装ったりターゲットに合わせて取引メールを装うなど年々巧妙化しており、開封を完全に防ぐことは非常に難しいと言えます。

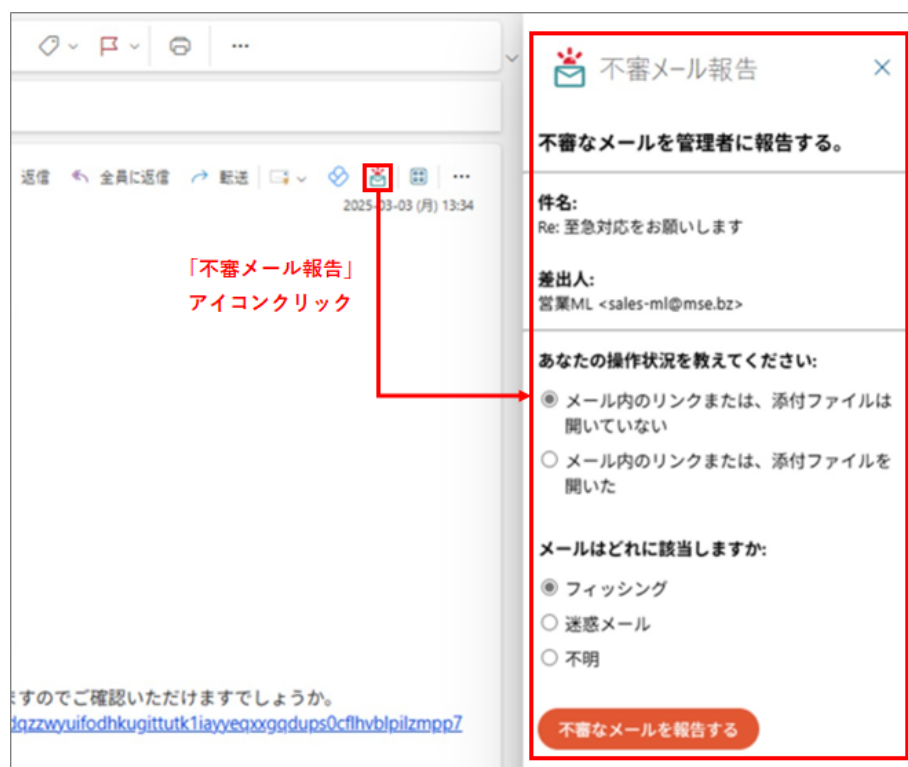
近年では、不審メールの脅威を早期に発見し迅速に対応するため、不審なメールを受信した際は開封／未開封に関わらず速やかにシステム部門に報告することが推奨されていますが、「報告の経路が周知されていない」「報告のルールが徹底されていない」などの課題を持つ組織が少なくありません。

今回リリースする「不審メール報告機能」は、従業員が不審なメールを受信した際に迅速・簡単に報告でき、且つ訓練メールの「報告」に関する評価を実施できるものです。

■「不審メール報告機能」の概要

不審なメールを簡単に報告

「不審メール報告機能」は、Microsoft 365 の Outlook および Google Workspace の Gmail に対応しており、簡単な設定でメール環境に不審メール報告ボタンを追加できます。ユーザーは、受信した不審なメールを簡単に管理者に報告できます。リンクや添付ファイルを開いたかどうか合わせて報告できるため、管理者は受信者の状況も把握できます。



〈不審メール報告画面の例〉

報告された不審なメールは Selphish の管理画面で一元管理できるため、攻撃手法を把握して組織内に注意喚起したり、個別の対応状況を管理したりできます。



〈Selphish の不審メール報告管理画面〉

メール訓練の報告状況を可視化

Selphish でメール訓練を実施し、従業員に本機能を用いて報告してもらうことで、報告状況や報告率を確認できます。継続的に分析することで、訓練や教育の効果、報告ルールの徹底など、組織のセキュリティ意識を評価できます。



〈トレーニング結果の画面例〉

■【リリースキャンペーン】追加料金なしで導入可能

2025 年 9 月末までに Selphish を導入いただいたお客様には、本機能が無償でご提供します。ぜひお早めにお問い合わせください。

※キャンペーン終了後は追加オプションとして有償での提供を予定しています。

■「Selphish (セルフフィッシュ)」とは

従業員に疑似的な標的型攻撃メールを送信し、受信者のセキュリティ意識の向上を図る標的型攻撃メール訓練サービスです。

ポイントを押さえた訓練テンプレートを多数ご用意し、専門知識がなくても簡単に訓練と教育を実施できます。訓練後にご提供するレポートでは、訓練結果の振り返りとともに、次の訓練に向けたアドバイス、効果的な教育内容をご提案します。

◎クラウド型標的型攻撃メール訓練サービス「Selphish」専用サイト

<https://security-academy.jp/>

※記載の会社名、団体名、製品名およびサービス名は、それぞれの会社、団体の商標もしくは登録商標です。

【会社概要】

会社名 : 株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 玉置慎一

所在地 : 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 5,000 万円

従業員数 : 172 名 (2025 年 3 月 1 日現在)

URL : <https://www.kdl.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 神戸デジタル・ラボ

デジタルビジネス本部 苦木 大輔（にがき だいすけ）

info@kdl.co.jp / 電話：078-327-2280

※テレワーク推進企業です。メールでご連絡いただけますと幸いです。

取材など随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。